



NPO／特定非営利活動法人

放送批評懇談会

第13回通常総会議事録

第一号議案 議長の選任

第二号議案 放送批評懇談会 2016 年度事業報告

第三号議案 放送批評懇談会 2016 年度決算

第四号議案 放送批評懇談会 2017 年度事業計画

第五号議案 放送批評懇談会 2017 年度予算

放送批評懇談会

2017年6月24日



特定非営利活動法人放送批評懇談会

<第13回通常総会>

■開催日 2017年6月24日

■会場 TKP新宿カンファレンスセンター
カンファレンスルーム 4A

■会勢 <正会員>
195名 (入会16名、退会18名)
<維持会員>
140社 (入会2社、退会2社)

■出席者 27名
泉 綾子 市村 元 出田幸彦 入江たのし 音
好宏 川喜田尚 隈部紀生 五井千鶴子 上滝徹
也 小林 毅 坂本 衛 桜井聖子 嶋田親一 鈴
木健司 鈴木嘉一 滝野俊一 田中典子 千葉邦
彦 中島好登 永須智之 丹羽美之 橋本 隆
稗田政憲 桧山珠美 藤田真文 藤久ミネ 渡邊
久哲

■委任状提出者 103名

■出席予定者と委任状提出者で計130名



第一号議案 議長の選任

定款第27条「総会の議長は、その総会に出席した正会員の中から選出する」の規定に則り、出席の正会員のなかから、「渡邊久哲氏」を合議により選出。

第二号議案

放送批評懇談会

2016 年度事業報告



2016年度総務事業報告

1. 志賀信夫賞

第8回志賀信夫賞の選考を行いました。正会員による候補者推薦を受け、選考委員会で選考を行い、ジュピターテレコム (J:COM) 初代社長・西村泰重さんを選出。6月1日の第54回ギャラクシー賞贈賞式で賞状と盾をお贈りしました。

選考委員会:音 好宏(委員長) 橋本 隆 藤田真文 藤久ミネ 川喜田尚 丹羽美之

2. 「Gメンバー」「Gメンバーサイト」の管理・運営

準会員制度「放送批評懇談会 オンライン会員 Gメンバー」を発足させました。

マイベストTV賞プロジェクトと協力し、メンバーを募り、会員管理、会員サービスを行いました。

3. ギャラクシー賞エントリーシステムの電子化

ギャラクシー賞参加の電子プラットフォームを完成させ、第54回ギャラクシー賞の応募作業から稼働させました。

4. NHK BSプレミアム「ザ・ベストテレビ2016」

2016年9月25日(日)、26日(月)、28日(水)。28日に、ギャラクシー賞テレビ部門大賞を贈られたテレビ朝日「報道ステーション『特集 独ワイマール憲法の“教訓”』」が放送されました。

5. NHKラジオ第1「ザ・ベストラジオ2016」

2016年10月8日(土)、9日(日)、15日(土)、22日(土)。22日に、第53回ギャラクシー賞ラジオ部門大賞・九州朝日放送「憲法で巡る日本の旅」が放送されました。

6. 第16回「日韓中テレビ制作者フォーラム 中国大会」

2016年10月21日～25日、中国・北京で開催された第16回大会「日韓中テレビ制作者フォーラム」に協力し、正会員2名



を派遣し、大会の成功に寄与しました。

7. マイメンバー

マイナンバー制度導入に伴い、個人情報の管理体制を強化しました。

8. 賃金支払規程

賃金支払規程を制定し、職員基本賃金表を策定しました。



2016年度出版編集事業報告

1. 昨年度は下記のメンバーで運営しました（敬称略）。

委員長	水島宏明				
副委員長	鈴木健司				
委員	氏家夏彦	岡田芳枝	内藤圭介	西川博泰	
	桧山珠美	藤田高弘	渡邊 悟		
編集スタッフ	中島好登	福島美子	山本夏生	齋藤茜里	

2. 毎月6日に「GALAC」を発行しました（発行部数は3400～4400部の間で推移）。

1) 特集テーマは以下のとおりです。

- 2016年10月号 “ネット炎上”とテレビ
／ 追悼 永六輔 大橋巨泉
- 2016年11月号 オリンピック、
リオから東京！どうするテレビ？
- 2016年12月号 障害者に愛されるテレビとは!?
／ SMAP がテレビに果たした役割
- 2017年1月号 第54回上期ギャラクシー賞
- 2017年2月号 テレビ音楽番組の“今”を探る
- 2017年3月号 生まれ変わる視聴率
- 2017年4月号 テレビの中の動物たち
- 2017年5月号 フェイクニュースが世界を騙す？
- 2017年6月号 放送局も迫られる働き方改革
- 2017年7月号 決定！第54回ギャラクシー賞
／ HOT TOPIC 共謀罪
- 2017年8月号 詳報！第54回ギャラクシー賞
- 2017年9月号 ネットに負けるな！テレビの料理コンテンツ
(仮題)

2) 社会的関心をテーマに大型特集を連打しました。また、タイムリーな緊急提言や緊急寄稿を掲載しました。（2016年10月号「参院選テレビ報道」、12月号「SMAP がテレビに果たした役割」。



2017年6月号「アッキーがゆく “復興の地” 舞台裏」、7月号「共謀罪マスメディアの責任は？」

- 3) 選奨事業委員会の見る会・聞く会報告、企画事業委員会のセミナー抄録など、各委員会と連携したページ作りにつとめました(2016年11月号、2017年3月号、6月号)。

3. 『GALAC』のインターネット対応、電子化を進めました。

- 1) 電子版を刊行しました(定価500円)。BOOK☆WALKER、Amazon、紀伊國屋書店 Kinoppy、kobo(楽天)などのインターネット書店で販売しました。
- 2) インターネットのニュースサイト「goo ニュース」「@nifty ニュース」「東洋経済online」「dot.」に記事の提供を行いました。
- 3) Gメンバーサイトに電子版を提供しました。



2016年度選奨表彰事業報告

1. 本年度は下記の委員の構成で運営しました。

選奨事業委員長 稗田政憲

＜テレビ部門委員会＞

委員長 出田幸彦

副委員長 岩根彰子

委員 岩城浩幸 太田省一 岡室美奈子 小泉世津子
鈴木誠一郎 西森路代 旗本浩二 福島俊彦
藤岡美玲 藤田真文

＜ラジオ部門委員会＞

委員長 橋本 隆

副委員長 五井千鶴子

委員 伊藤友治 鶴飼一嘉 大谷知史 北郷裕美 黄 莉香
小林浩子 仲宇佐ゆり 永須智之 中村亮平
三原 治

＜CM部門委員会＞

委員長 稗田政憲

副委員長 桧山珠美

委員 国枝智樹 汲田亜紀子 鈴木武人 鈴木ゆかり
野上信子 服部千恵子 星野 裕 本庄雅之
横川紀子 若尾一彦

＜報道活動部門委員会＞

委員長 丹羽美之

副委員長 市村 元

委員 石井裕一郎 大澤恒夫 河野尚行 田中早苗
谷岡理香 藤久ミネ 古川柳子 宮前周司 矢後政典

選奨事業委員会担当事務局 福島美子 齋藤茜里

2. 第54回ギャラクシー賞各部門の選考のため、以下の作業を行いました。



<テレビ部門委員会>

・2016年4月から2017年3月まで、毎月選考会を開き月間賞4本を選びました。

選考結果を「GALAC」誌上に月間賞選評および番組短評一覧として発表しました。毎月20日を情報解禁日とし、月間賞の選考結果をプレスリリースしました。

・2016年9月10日～30日、10月8日～24日に、第54回上期自薦作品141本を視聴。11月3日、月間賞(24本)と自薦作品の中から上期入賞作品7本を選出しました。

・2017年3月10日～30日、4月7日～16日に、第54回下期自薦作品170本を視聴。4月23日、月間賞(24本)と自薦作品の中から下期入賞作品7本を選出しました。同時に特別賞、個人賞、フロンティア賞も選びました。

<ラジオ部門委員会>

・2016年4月から2017年3月まで、毎月ラジオ委員会を開催してラジオについての合評を行いました。

・2016年10月、第54回上期35本の自薦作品を聴取し、10月21、31日に各部門の上期候補作品を選出しました。

・2017年4月、下期37本の自薦作品を聴取し、4月17、19日に各部門の下期候補作品を選出しました。

・4月24日、上期下期をあわせた候補作品の中から入賞作品8本を選出し、DJパーソナリティ賞も選出しました。

・2016年7月24日にTBSセミナー室、11月6日にTOKYO FMジェットストリーム大会議室で「入賞作品を聴いて、制作者と語り合う会」を開催しました。

<CM部門委員会>

・2016年4月から2017年3月まで、毎月委員会を開催してCMについての合評を行いました。

・2016年10月25日、上期97本の自薦作品を視聴し、13本の候補作品を選出しました。

・2017年4月21日、下期88本の自薦作品を視聴し、13本の候補作品を選出しました。上期下期合わせた中から13本の



入賞作品を選出しました。

・2016年9月3日にオムニバスジャパン赤坂ビデオセンターにて「第53回ギャラクシー賞CM入賞作品を見る会」をCM部門として初めて開催しました。

<報道活動部門委員会>

・2016年10月22日、上期11本の自薦作を視聴・聴取し、3本の候補作を選出しました。

・2017年4月22日、下期19本の自薦作を視聴・聴取し、7本の候補作を選出しました。上期下期合わせた中から6本の入賞作品を選出しました。

・2016年7月と2017年2月に委員会を開催して、報道活動についての情報交換を行いました。

・「GALAC」連載ページを委員が分担し、全国各地における報道活動の紹介、各局報道活動への期待、特定のテーマに関する報道活動についての論考などを執筆しました。

3. 2017年6月1日(木曜日)、セルリアン東急ホテルボールルームにて「第54回ギャラクシー賞贈賞式・懇親会」を開催しました。なお、実行プロジェクトメンバーは入江たのし理事、中島好登事務局長を中心に編成しました。出席者は報道陣、スタッフも含めて、約600名でした。



2016年度企画開催事業報告

1. 2016年度の企画事業委員会は、下記の委員で構成しました。

委員長 川喜田尚

副委員長 桜井聖子

委員 奥 律哉 田川義博 堀木卓也 松崎泰弘 元橋圭哉
柳川素子

2. 2016年度は昨年従来に引き続きタイムリーなワンポイントのテーマで中規模のセミナーを2回開催しました。

(1) 放送批評懇談会セミナー2016

「ラジオの可能性を真剣に考える2～新しいメディアとしての“ラジオ”」

日時：2016年9月16日（金）14：00～16：30

会場：明治記念館

パネリスト：TBSラジオ代表取締役社長 入江清彦氏
STVラジオ代表取締役社長 大西賢英氏
モデレーター：川喜田 尚

参加者：112名

(2) 放送批評懇談会セミナー2017

「放送はネット配信とどう向き合うか～最先端スポーツ中継から放送とネットの近未来を考える～」

日時：2017年3月17日（金）14：00～16：45

会場：株式会社ジェイ・スポーツ第1スタジオ

協力：(株)ジェイ・スポーツ

パネリスト：デルタトレ 河野道夫氏
電通総研メディアイノベーションラボ
統括責任者 奥律哉氏
プレゼントキャスト代表取締役社長
須賀久彌氏

参加者：75名

【オプション企画】 BS スポーツ専門局J SPORTS 放送施設見学会



両セミナーとも参加者アンケートでは高い満足度を得ることができました。

収支は（1）約13万円、（2）約19万円の黒字を達成しました。

（2）は、ジェイ・スポーツの協力により、会場に放送スタジオを使用して好評でした。オプション企画の施設見学も参加者満足を高めました。

月刊「GALAC」との連携を図り、セミナー抄録を掲載しました。



2015年度マイベストTV賞

プロジェクト事業報告

1. 以下のメンバーで運営しました。

プロジェクトリーダー	滝野俊一		
副リーダー	茅原良平		
メンバー	飯田みか	石橋さや夏	中平良磨
	永田俊和	西川博泰	
事務局	中島好登	齋藤茜里	

2. マイベストTV賞の参加やその活動を支える準会員制度「放送批評懇談会 オンライン会員 Gメンバー」(以下、Gメンバー)を5月にスタートさせました。それに伴い従来のWeb会員制度は終了しましたが、会費半額特典を付けるなどWeb会員がGメンバーに移行しやすいようにキャンペーンを実施しました(会費は通常、年間3,000円、半年2,000円)。
3. Gメンバーの会員を増やすべく、SNSなどを使った広報活動に力を入れました。「マイベストTV君」のアカウントでツイッターを運用し、投票の告知を行ったほか、ギャラクシー賞や「GALAC」、放懇セミナーなど会の事業のパブリシティにも努めました。ツイッタータイムラインはGメンバーサイトにも掲載し、会員への情報サービスに当たりました。1月にはインスタグラムも開設。放送批評懇談会の広報も兼ねて、アカウント名を「houkon.jp」にしました。
4. 学生の会員を増やすべく、年会費1,000円の「特別入会制度」を11月から実施しました。
5. 第11回「マイベストTV賞グランプリ」が決定しました。グランプリは、2016年4月度から2017年3月度まで投票によって毎月決められたノミネート作36本の中から、最大5本までを投票するという方法で決められ、火曜ドラマ「逃げるは恥だが



が役に立つ」(TBSテレビ)が榮譽に輝きました。

6. Gメンバーの会員数は301名(3月31日現在)でした。

第三号議案

放送批評懇談会

2016 年度決算

収 支 計 算 書

2016年4月1日～2017年3月31日まで（単位：円）

科目	予算額	決算額	差異
I. 収入の部			
1. 会費等収入			
会費収入	2,900,000	3,840,106	△ 940,106
維持会費収入	42,500,000	42,175,000	325,000
Gメンバ-会費収入	800,000	579,689	220,311
2. 事業収入			
選奨表彰事業収入	31,800,000	33,323,740	△ 1,523,740
企画開催事業収入	1,000,000	993,000	7,000
周年事業収入		42,000	△ 42,000
3. その他の収入			
出版編集事業収入	3,800,000	3,772,645	27,355
広告料収入	5,500,000	4,807,400	692,600
4. 雑収入			
受取利息	0	206,221	△ 206,221
当期収入合計	88,300,000	89,739,801	△ 1,439,801
II. 支出の部			
1. 事業費			
選奨費	8,200,000	6,870,644	1,329,356
式典費	12,000,000	11,844,398	155,602
企画開催費	700,000	584,256	115,744
原稿料	5,700,000	5,737,387	△ 37,387
編集費	5,000,000	3,986,309	1,013,691
雑誌印刷費	17,300,000	17,934,264	△ 634,264
発送費	1,800,000	1,882,184	△ 82,184
2. 管理費			
給料手当	17,500,000	17,059,006	440,994
人件費	5,000,000	4,259,762	740,238
法定福利費	3,100,000	2,770,909	329,091
福利厚生費	180,000	500,312	△ 320,312
旅費交通費	800,000	728,834	71,166
通信費	700,000	679,414	20,586
資料費	120,000	51,544	68,456
会議費	280,000	329,244	△ 49,244
水道光熱費	300,000	257,033	42,967
事務用品費	100,000	120,034	△ 20,034
消耗品費	400,000	377,115	22,885
備品費	500,000	376,888	123,112
諸印刷費	500,000	633,420	△ 133,420
広報費	900,000	946,870	△ 46,870
支払手数料	220,000	182,326	37,674
賃借料	4,100,000	4,015,698	84,302
保険料	700,000	709,572	△ 9,572
交際費	150,000	128,666	21,334
雑費	820,000	875,576	△ 55,576
諸会費	150,000	151,644	△ 1,644
租税公課	80,000	72,600	7,400
退職給付引当金繰入	1,000,000	1,000,000	0
当期支出合計	88,300,000	85,065,909	3,234,091
当期収支差額	0	4,673,892	△ 4,673,892

特別会計 収 支 計 算 書
2016年4月1日～2017年3月31日まで（単位：円）

科目	2016予算	決算額	差異
I. 収入の部			
志賀基金取崩金	6,090,400	5,232,600	857,800
当期収入合計	6,090,400	5,232,600	
II. 支出の部			
マイベストTV賞刷新	1,090,400	378,000	712,400
ギャラクシー賞エントリーデジタル	5,000,000	4,854,600	145,400
当期支出合計	6,090,400	5,232,600	857,800
当期収支差額	0	0	0

貸借対照表

2017年3月31日現在(単位:円)

科目	金額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	46,856,722		
未収入金	3,027,500		
所有物	286,625		
流動資産合計		50,170,847	
2. 固定資産			
賃借権利金等	33,162		
差入保証金	4,099,500		
特定資産			
志賀基金	59,509,353		
退職給付引当金	25,104,068		
固定資産合計		88,746,083	
資産合計			138,916,930
II. 負債の部			
未払金	6,805,403		
前受金	2,430,000		
預り金	259,119		
退職給付引当金	25,104,068		
負債合計			34,598,590
III. 正味財産の部			
志賀基金	100,000,000		
その他の正味財産	4,318,340		
正味財産合計			104,318,340
(うち基本金)			0
(うち当期正味財産増加)			-558,708
負債及び正味財産合計			138,916,930

正味財産増減計算書

2016年4月1日～2017年3月31日まで(単位:円)

科目	金額		
I. 増加の部			
1. 資産増加額			
現金預金増加額	897,832		
未収入金増加額			
賃借権利金増加額			
2. 負債減少額			
未払金減少額	4,122,741		
増加額合計		5,020,573	
II. 減少の部			
1. 資産減少額			
未収入金減少額	295,000		
賃借権利金減少額	132,645		
特定資産減少額	4,034,489		
2. 負債増加額			
預り金増加額	27,147		
前受金増加額	90,000		
退職給付引当金増加額	1,000,000		
減少額合計		5,579,281	
当期正味財産増加額			-558,708
前期繰越正味財産額			104,877,048
期末正味財産額			104,318,340

第四号議案

放送批評懇談会

2017 年度事業計画



2017年度総務事業計画

1. 志賀信夫賞
第9回の選考、表彰を行います。
2. 正会員の加入促進
正会員の加入促進に努めます。正会員の増員によって会の基盤を強め、より多彩な活動を支えます。
3. 維持会員の加入促進
維持会員の増員によって会の財政基盤を強めることを目指します。
4. 「GALAC」広告
出版編集委員会と連携し、「GALAC」広告の営業に努力するほか、スペースの有効活用について研究します。
5. Gメンバー、Gメンバーサイトの運営
広報委員会と連携し、「放送批評懇談会 オンライン会員 Gメンバー」制度の管理・運営に当たります。マイベストTV賞の投票選出、情報交流、批評活動の活性化などを支援します。
Gメンバーサイトの維持管理に当たり、正会員専用ページの充実にもつとめます。
6. 広報の強化
広報委員会と協力し、放送批評懇談会のイメージアップのための広報活動を行います。
7. ギャラクシー賞データベース
「ギャラクシー賞データベース」の管理運営に当たります。
8. 第17回「日韓中テレビ制作者フォーラム・東京大会」
2017年9月24日(日)、25日(月)、26日(火)に予定される第17回「日韓中テレビ制作者フォーラム・東京大会」に協力し、大会の成功に寄与します。



9. 事務局の労働環境を整備し、次世代につながる事務局体制を模索します。



2017年度出版編集事業計画

1. 本年度は下記のメンバーで運営します（敬称略）。

委員長	水島宏明			
副委員長	鈴木健司			
委員	氏家夏彦	岡田芳枝	内藤圭介	西川博泰
	桧山珠美	藤田高弘	渡邊 悟	
編集スタッフ	中島好登	福島美子	山本夏生	齋藤茜里

2. 毎月6日に「GALAC」を発行します。本年度の運営方針は以下のとおりです。

1) テレビやラジオという「放送」が現在、大きな転機を迎えている状況を強く意識し、「放送」にかかわる諸問題に問題提起しつつ、次の時代を見据えながら放送文化の向上に貢献する放送批評を雑誌として行います。

2) 特集ページ・連載ページ・各選奨委員会による作品批評ページの3本柱で構成し、放送にかかわる制作者、送り手、受け手などそれぞれの立場の人たちにとって「プラス α」を伝える雑誌であるよう心がけます。

3) 新規連載ページをスタートさせて、放送事業に携わる関係者などがより興味・関心を持つような魅力的なコンテンツの発信に努めます。

4) 特集ページではタイムリーなテーマを選定し、タイミングを失することなく、スピーディーな展開を目指していきます。

5) ネットでの記事発信や電子出版などにも力を入れて、信頼される放送批評誌としての存在感と影響力を高めていきます。



- 6) 選奨事業委員会や企画事業委員会と連携し、放送をめぐる様々な活動に多面的に寄与していきます。
- 7) 広報委員会と連携し、「GALAC」の宣伝・広報に努めます。
- 8) 「GALAC」広告の営業に努力するとともに、有効活用を研究します。



2017年度選奨表彰事業計画

1. 2017年度は下記の委員構成で運営します。

選奨事業委員長 稗田政憲

＜テレビ部門委員会＞

委員長 出田幸彦

副委員長 岩根彰子

委員 岩城浩幸 太田省一 岡室美奈子 小泉世津子

鈴木誠一郎 西森路代 旗本浩二 福島俊彦

藤岡美玲 藤田真文

＜ラジオ部門委員会＞

委員長 橋本 隆

副委員長 五井千鶴子

委員 伊藤友治 鶴飼一嘉 大谷知史 北郷裕美

黄 莉香 小林浩子 仲宇佐ゆり 永須智之

中村亮平 三原 治

＜CM部門委員会＞

委員長 稗田政憲

副委員長 桧山珠美

委員 泉 綾子 国枝智樹 鈴木武人 鈴木ゆかり

野上信子 汲田亜紀子 服部千恵子 星野 裕

本庄雅之 横川紀子 若尾一彦

＜報道活動部門委員会＞

委員長 丹羽美之

副委員長 市村 元

委員 小川邦雄 河野尚行 櫻井 要 田中早苗

谷岡理香 藤久ミネ 古川柳子 矢後政典

選奨事業委員会担当事務局 福島美子 齋藤茜里

2. 第55回ギャラクシー賞（2017年度）の審査、ならびに贈賞式を行います。



3. 2017年度の運営方針は以下のとおりです。

今年度は昨年度（第54回ギャラクシー賞）と変わらず、各部門ともそれぞれに熱い討議を重ね、より公正にかつ緻密で慎重な選考を行う所存です。第54回では、CM部門は大幅に応募数を下回りましたが、テレビ部門が昨年に続き300本を上回る応募を獲得しました。ラジオ部門及び報道部門もほぼ昨年並みの応募を確保しました。これはテレビ部門の「ギャラクシー賞入賞作上映会」やラジオ部門の「入賞作品を聴いて、語り合う会」、報道活動部門の「ギャラクシー賞受賞『報道活動』を見て、制作者と語る会」などを開催した各部会の努力が確実に実を結んできたように思えます。受賞作品を媒介にPR活動の強化を図り、制作者と視聴者をつないでいく試みをどの部門もさらに続けていきたいと思っています。

1) テレビ部門委員会の運営

①民主主義が成熟していくためにはメディアの役割が欠かせません。そのなかでもテレビジャーナリズムがしっかりと機能することが今求められています。また心豊かな社会の実現にむけて、放送が果たす役割はますます大きくなっています。ドキュメンタリー、ドラマ、バラエティなどそれぞれの番組が多様性をもつことで豊かな放送文化が創造されていきます。

こうした状況をふまえながら、テレビ部門委員会は、テレビ番組に対する真摯で活発な批評活動をさらに進め、引き続き批評の創造・発信拠点となることを目指します。

②テレビ部門委員会は、毎月、月評会を開いて各委員が推薦する番組の中から活発な意見交換を通して「月間賞」を選びます。また年2回、各放送局、プロダクションからエントリーされる応募番組の選考を行い、「月間賞」作品も加えて上期、下期それぞれで「入賞作品」および「奨励賞」を選びます。そのうえで年間を通して優秀な作品や個人に対して「大賞」「優秀賞」「選奨」「特別賞」「個人賞」を決定します。

また2015年度に新設した「フロンティア賞」は3年目となります。メディア環境の大きな変化のなかで、テレビの新境地を開拓し、その未来や可能性を広げる意欲的な番組や活動を顕



彰し、「賞」のさらなる定着を図っていきます。

③上記の選考の過程や結果を贈賞式および「GALAC」誌上で発表します。この受賞番組を紹介する活動の一環として、制作者をゲストに招いた番組上映会や討論会などの開催につとめます。

2) ラジオ部門委員会の運営

委員の変更はありません。昨年導入したスカイプを利用して大阪在住委員を加えての活動、当初若干のバタバタした時もありましたが、慣れてきて順調に進んでおります。

大阪からの委員も大変積極的で、最終選考会など重要な会議には上京するといった対応をしてくれており、試みとしては成功だと判断しております。

基本方針は変わりませんが、ラジオ媒体の強化に資するような地道でも積極的な提言となるような審議に努力し、その情報を発信していきます。

①定例合評会

毎月1回の定例合評会を開催します。今まで同様、全国の局AM局、FM局、コミュニティ局の全番組を対象に、聴取番組を選びその評価を致します。合評会の議論の内容は「GALAC」誌にて公開します。

その番組の良い所、直したらと思う足りない所を議論しその番組の更なる充実を促すことも大切ですが、ラジオの良さを発揮している良い所を多く取り上げ、他局の制作者のヒントとなるような議論を目指そうといった感覚を委員全員が持っておりますのでその点を重視しながら運営していきます。

②ギャラクシー賞の選考

今まで同様です。昨年度の選奨優秀賞大賞は大変高いレベルでした。優れた番組が沢山あるのにラジオの聴取者が減って行っていることは残念です。ここ2年ほど応募数も70本前半で止まっています。応募される局もメンバーが固定してきています。そういった点には危機感を感じています。

上記の定例発表会の運営も含めて、検討しながら進めていきます。



③「GALAC」誌での活動

昨年度後半から「GALAC」誌ラジオ4ページの内容に関して、全員で見直しを検討してきました。改革案もいくつか出てまいりましたが、全員で議論する中から、現在のままでも中身の更なる充実が望ましいとの意見も出てきて、現在審議継続中です。

改革と言うテーマが出て来たおかげで、新任委員たちも含めて意識改革が進んだと思います。結局は、ラジオ委員会はどういう情報を発信することが大切かと根本的な議論が必要と今感じています。現在の「合評報告」「生ワイド番組紹介」「ラジオで活躍する人紹介」「トピックス」の4コーナーを暫し継続し、来年4月号を改革する場合の目途として議論を続けます。

④「ギャラクシー賞入賞作品を聴いて、制作者と語り合う会」長く続いて来た会を今年も開催します。第23回、24回となります。

昨年準備不足から2回目が11月になりましたが、若干参加者が少なかったという点を反省し、今年は2回まとめたセット開催を企画し、準備しております。

1) CM部門委員会の運営

第54回ギャラクシー賞の応募数は前年より55本の減少で200本を割る結果となり、単体作品、シリーズ作品、地方作品などすべての応募形式で減少しました。結果を真摯に受け止め、将来につながるようにCM委員会では以下の活動を通じ委員会運営を強化してまいります。

①選考会ではなお一層テレビ広告の役割とギャラクシー賞らしさを確認しつつ、クリエイティブ力のある作品、感銘をあたえる作品、時代をリードする作品を発掘していきたいと思っています。

②月1回の月評会は、委員各々がリストアップした3本のテレビCMを多種多様にわたる視点から検討し、活発に批評活動を磨いてまいります。加えて「GALAC」誌面になお一層の充実をもって反映できるようにしていきます。

③好評CMとして「GALAC」に載ったものをその制作者や広



告主に送り、ギャラクシー賞応募への促進をはかりたいと思います。

④ギャラクシー賞応募増につながるよう広告の専門誌にギャラクシー賞受賞CMの記事が載るようにPRに努めます。

⑤ギャラクシー賞CM部門の認知を他部門の認知レベルに少しでも近づけるべく、「ギャラクシー賞入賞CM作品を見る会」を今年も9月2日に大賞受賞関係者をゲストに迎え日本大学芸術学部江古田キャンパスで行います。

⑥過去検討されては見送られてきたラジオCMをギャラクシー賞CM部門の応募対象にする可能性・実行性を再検討していきたいと思います。

4) 報道活動部門委員会の運営

①報道活動部門は、放送批評懇談会の創立40周年を記念して2002年に創設されました。従来の賞やコンクールは、個々の「番組」の完成度や作品性を中心に評価を行ってきました。これに対して、報道活動部門は、個々の「番組」の枠組みでは必ずしも捉えきれない一連の報道「活動」を全体として評価するところに最大の特徴があります。持続的な調査報道、局を挙げてのキャンペーン、ウェブや他メディアと連動した新しい展開など、多種多様な報道活動を対象にし、放送ジャーナリズムの活性化に寄与することを目的としています。

②報道活動部門は応募制を採っています。年2回(上期・下期)、各社・各局からエントリーを受け付け、選考を行います。最終的に大賞1本、優秀賞2本、選奨3本を選びます。上記の選考の過程・結果は贈賞式及び「GALAC」誌上で発表します。

③この他、年2回程度の合評会の開催、委員の持ち回りコラムの「GALAC」への掲載(「報道活動部門トピックス」)、「見る会、語る会」の開催などを通して、優れた報道活動を積極的に発掘・紹介すると同時に、多方面からの応募を促すよう努めます。



2017年度企画開催事業計画

1. 放送の今日的課題をめぐるシンポジウム、セミナー、研究会などを企画・立案・実施します。
2. 本年度の企画事業委員会は、以下の委員で構成します。
委員長 川喜田尚
副委員長 桜井聖子
委員 奥 律哉 田川義博 堀木卓也 松崎泰弘
元橋圭哉 柳川素子
3. 前年度同様、中規模なシンポジウム、勉強会などをタイムリーに開催する方向で企画検討します。
4. 基本方針案は以下の通りと致します。
 - ① 放送業界の活性化に貢献する。
 - ② 放送批評懇談会に相応しい質の高い企画を目指す。
 - ③ 他の委員会活動や月刊「GALAC」との連携を一層強化し、会員の維持・獲得に努める。強化する。



2017年度広報委員会事業計画

1. 以下の委員で運営します。

委員長	滝野俊一				
副委員長	茅原良平				
委員	飯田みか	石橋さや夏	中平良磨	永田俊和	
	西川博泰				
事務局	中島好登	齋藤茜里			

2. SNSを使った広報活動に力を入れます。すでに開設しているツイッター、インスタグラムに加え、フェイスブックを開設します。
3. @niftyなどのポータルサイトと連携した広報活動も積極的に行います。
4. 準会員制度「放送批評懇談会 オンライン会員 Gメンバー」(以下、Gメンバー)の運営を行います。委員が掲示板に参加するなどし、準会員制度の盛り上げとサービスの充実に努めます。
5. Gメンバーの新規会員獲得のために、「会費半額キャンペーン」や学生向けの「特別入会制度」など各種キャンペーンを実施します。また現メンバーの継続促進のために、ポイント制度をさらに充実させます。
6. 親睦団体や大学関係者に働きかけるなどして、正会員およびGメンバーを獲得すべく草の根的な活動を行います。
7. マイベストTV賞の月間ノミネート番組の投票を毎月実施します。今年度から投票できる番組を3本から5本に増やし、より投票をしやすくします。そして、第12回「マイベストTV賞グランプリ」を決定し、第55回ギャラクシー賞贈賞式で表彰します。



8. 放送批評懇談会のホームページのリニューアルを検討します。
リニューアルではデザイン、機能を一新し、スマートフォンに対応させます。
9. 総務と協力し、「ギャラクシー賞データベース」の改善を図ります。

第五号議案

放送批評懇談会

2017 年度予算

2017年度予算案

2017年4月1日～2018年3月31日まで（単位：円）

科目	決算額	2017予算	摘要
I. 収入の部			
1. 会費等収入			
会費収入	3,840,106	2,900,000	正会員会費
維持会費収入	42,175,000	42,500,000	維持会員会費
Gメンバ-会費収入	579,689	500,000	Gメンバ-会費
2. 事業収入			
選奨表彰事業収入	33,323,740	32,200,000	参加料, 贈賞式収入, レプリカ販売
企画開催事業収入	993,000	1,000,000	シンポジウム参加料
周年事業収入	42,000		
3. その他の収入			
出版編集事業収入	3,772,645	4,000,000	GALAC販売
広告料収入	4,807,400	5,000,000	GALAC広告
4. 雑収入			
受取利息	206,221		
当期収入合計	89,739,801	88,100,000	前年比98.1%
II. 支出の部			
1. 事業費			
選奨費	6,870,644	8,000,000	委員会, 見る聞く会, レプリカ, システム
式典費	11,844,398	12,100,000	ギャラクシー賞贈賞式開催費
企画開催費	584,256	700,000	委員会運営, 実施経費経費
原稿料	5,737,387	5,700,000	GALAC原稿料
編集費	3,986,309	4,200,000	GALAC編集費, 委員会運営
雑誌印刷費	17,934,264	17,800,000	GALAC印刷費
発送費	1,882,184	2,000,000	GALAC発送費
2. 管理費			
給料手当	17,059,006	17,500,000	職員給与
人件費	4,259,762	5,000,000	契約職員, 臨時職員経費
法定福利費	2,770,909	2,900,000	社会保険など
福利厚生費	500,312	180,000	残業飲食, 職員福利厚生
旅費交通費	728,834	750,000	職員通勤費・交通費, 役員交通費
通信費	679,414	720,000	郵便, 宅配便, 電話, ネット
資料費	51,544	60,000	新聞, 雑誌, 書籍
会議費	329,244	320,000	理事会, プロジェクトの会議費用
水道光熱費	257,033	280,000	水道代, 電気代
事務用品費	120,034	120,000	事務用品, PC周辺機器
消耗品費	377,115	380,000	コピー機使用料, 日用品
備品費	376,888	400,000	映像音響機器, PC
諸印刷費	633,420	500,000	会員名簿, 封筒, 名刺など
広報費	946,870	1,200,000	Gメンバ-サイト, ホームページ, DB, 日韓中
支払手数料	182,326	220,000	振込手数料, 更新手数料
賃借料	4,015,698	4,100,000	事務所賃借, コピー機レンタル
保険料	709,572	710,000	保険(退職金補填), 火災保険
交際費	128,666	150,000	冠婚葬祭, 中元, 歳暮
雑費	875,576	880,000	税理士, 社労士, NHK, WOWOW, JCOM
諸会費	151,644	150,000	友好団体会費
租税公課	72,600	80,000	法人都民税, 消費税, 収入印紙
退職給付引当金繰入	1,000,000	1,000,000	毎年100万円の積み立て
当期支出合計	85,065,909	88,100,000	前年比103.6%



NPO／特定非営利活動法人

放送批評懇談会

〒160-0022 東京都新宿区新宿 5-10-14 中村ビル 2F

Tel. 03-5379-5521 Fax. 03-5379-5510

kondankai@houkon.jp <http://www.houkon.jp/>